

授業科目名	医療知識V		科目コード	202016		
開講クラス	医療事務科	コース	総合コース	学 年	1 年	
担当教員	西岡 明子		実務経験教員 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)			
	実務経験内容 病院に6年間勤務し、主に看護業務に従事 実務経験を活かし、解剖学・生理学など医学の基礎知識を理解させる授業を行う					
開講時期	前期・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期・通年・特別講義・その他		授業コマ数	30時間		
	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必修		単 位 数	1 単位		
使 用 テキスト 1	書 名	カラーで学べる病理学				
	著 者	渡辺 照男				
	出版社	ヌーヴェルヒロカワ				
使 用 テキスト 2	書 名	ぜんぶわかる 人体解剖図				
	著 者	坂井 建雄・橋本 尚詞				
	出版社	成美堂出版				
参考図書	公費負担医療の実際					
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習					
<p><授業の目的・目標></p> <ul style="list-style-type: none"> 医療事務者として一定の医学的専門知識と、その知識を活かした保険請求能力を身に付けることを目的とする。 医療秘書検定試験準1級、医師事務作業補助能力認定試験合格を目標とする。 						
<p><授業の概要・授業方針></p> <ul style="list-style-type: none"> 医療事務者として保険請求の際にカルテを読み解き、内容を理解することは重要であるため、医療現場での話など身近な話題、経験談も導入し授業を行う。 人体の器官、臓器及び組織等、解剖・生理について深い知識を得る。医学用語・医学英語、使用頻度の高い医薬品についての知識を得る。診療録、看護録のサマリー情報を概略的に理解できるようになる。 						
<p><成績基準・評価基準></p> <ul style="list-style-type: none"> 成績基準 優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：59点以下 評価基準 ①小テスト、授業態度、提出物：20% ②期末試験：80% 						
<p><使用問題集・注意事項></p> <ul style="list-style-type: none"> 医療秘書検定試験準1級 過去問題集 						
<p><授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他></p> <ul style="list-style-type: none"> 関連科目 「医療事務」、「医師事務作業補助」 						

授業科目名		医療知識Ⅴ	
回	授 業 内 容		備 考
1	外科で扱う疾患		
2	外科領域疾患の診断と治療 中枢神経系		
3	呼吸器系		
4	循環器系		
5	消化管		
6	肝臓、胆嚢、膵臓、脾臓		
7	乳腺、内分泌		
8	泌尿器系		
9	整形外科		
10	耳鼻咽喉科		
11	眼科		
12	小児疾患の診断と治療		
13	小児疾患の診断と治療		
14	小児疾患の診断と治療		
15	産科・婦人科		
16	産科・婦人科		
17	産科・婦人科		
18	皮膚科		
19	皮膚科		
20	皮膚科		
21	画像診断		
22	診断と治療		
23	薬品に関する公定書と法律		
24	薬の名称および種類		
25	医薬品と処方		
26	薬物療法		
27	薬物療法		
28	薬物療法		
29	薬物の剤形		
30	まとめ		